

普連土学園校友会報

第 **103** 号

令和2年(2020年)2月15日

発行：普連土学園校友会

住所：〒108-0073 東京都港区三田 4-14-16

E-mail：friends@f-koyukai.com

責任者：松浦 栄子

T E L：03-3451-7700

F A X：03-3451-1959



普連土学園と私

普連土学園講師 山本 幸子 (68 回生)

「入学式は礼拝で始まり、新入生一人一人に聖書が渡されました。校歌は讚美歌のようでした。心にしみまし

た。」
私が普連土学園に入学した日の日記です。その日から何度同じ坂を登り、何度同じ校歌を歌ったことでしょうか。聖書は文語から口語に、更に共同訳へと変わりました。通算すると私は半世紀近くも学園に通っていることになりました。

生徒の頃の記憶としては、ミス・ローズに勧められてモースタウンFSに留学した時の一場面が鮮明に残っています。往路ノルウエーの貨物船で、ただ一人の乗客として渡航したときのことです。船酔いとホー

ムシツクで苦しんでいた私は、空を覆い尽くす黒い雲と、白波の立つ暗い海をながめていました。

暖かな家庭や学園を離れて、なぜ一人で未知の世界へ飛び出して来たのか。大海に漂う木の葉にしがみつく蟻のような心細さにこごえる思いでじつとうつぶむいていました。

ふいに、暖かい空気に包まれてあたりを見回すと、光が溢れていました。雲が切れて光がそこだけに降り注いでいたのです。呆然と空を見上げてたらずむ私の心は安らかでした。その日から私は変わりました。食堂では皆に声をかけ、船長さんを手伝えることがないかを尋ねました。そして海図に記入したり、船室の窓枠を磨くなどをしながら皆とおしゃべりをして、残りの船旅を楽し

く過ごすことが出来たのです。

その後、私の人生の辛いとき、孤独なとき、必ずその船上の体験がよみがえります。あるとき沈黙の礼拝の中であの暖かさを求めていたとき、ふと「私はいつもそばに居る

目次

クリスマス礼拝
バザー報告
懐かしい先生
校友生は今
同窓会報告
チャイルドファン
125回生成人式

よ。」とささやく声を聞いた気がしました。「船上でもきつとこの声を聞いたのだ。」と私はそのとき悟りました。

教師になって母校に戻ってからも決して安穏な日々が続いたわけではありません。人間の集まる所では常に価値観や感性の違いにより様々な問題が生じます。しかし、生徒が希望を語り、目標に向かって努力して成長していく姿を見守ることができるとは、何よりの喜びです。日々若いエネルギーとそれぞれの賜物を感じながら過ごせることは幸いです。

神様の愛によって同時代に生を受け、普連土学園に関わっていること、不思議を思います。お互いの存在をありのままに感謝して受け入れ、大切にしたいと思えます。「光溢るる望み」が永久にと祈ります。



留学するときの往路の船上で。日付変更線を越えた日に着物を着て祝いました

先日はローマから38年ぶりに教皇さまが来てくださった。カトリック信者は教皇をパパさまと呼びますが、これは神がパパだというシンボルなのです。東京ドームで5万人の人が集まりミサがあげられました。が、ミサの応募倍率は3倍で外れた

校友会クリスマス礼拝

12月7日(土)

「純粋な贈り物」

ルカによる福音書 6章27～36節

カトリック上野教会・浅草教会主任司祭

晴佐久 昌英 神父

人の多くは大変がっかりしました。私はこれを見て「罪深い人ほど当たり、清い人は当たらない。神さまが罪深い人を集め、パパさまの説教を聞かせて改心させようとした」という噂を流しました。実際には外れた人の慰めにはなりませんでしたが、

皆パパさまのメッセージには非常に感動しました。あの方はいつも同じメッセージを言っています。「出向け、出て行け、出合いの文化をやつてゆこう」と。さみしい人、助けを求めている人と出会うと何かが働き、聖霊の働きで何かがつながる。それが愛の現場となり、その時初めて私が私になる。誰かが出会った時に初めて私が生まれるのです。出会うことによって神の国が作られています。



く。そのことをイエスさまは実践して私たちに模範を示してくれました。イエスの弟子である266代のフランシスコ教皇も出向いて、出向ってこれを行っています。教皇になつて最初の時に信徒の足を洗う儀式がありますが、教皇はバチカンを出て、子供たちの施設に行きイスラム教徒の少女の足を洗いました。また、自分の誕生日パーティーでは、サンピエトロ広場のホームレスを集

めて一緒に食事をしました。出向き、受け入れ、出合いの文化を作る。これは何教、何宗の話ではないのです。イエスは貧しく、寂しく、苦しく、社会から虐げられた人たちに、あなたたちこそ私の血縁だと言いつつ、血縁の家族を超えた、神さまの血縁による大きな家族を作るために生まれてこられたのです。最後の晩餐の時にもイエスは弟子たちに、家族として一緒に食事をし、家族としてつながつていてくれるよう遺言を残しました。

血縁を超え助け合う、神さまによつて結ばれた家族が今の時代を救う道だと思つています。これを私は福音家族と呼んでいます。現在私は24の福音家族を持っています。一家族20～30人位か。心の病を持っている家族・育児支援の母の家族・ホームレスの食堂をする家族・ベトナム留学生家族・ベトナム実習生家族等があり、月に一回共に食事をすることに、より多くの家族が助け合い、支えあい、励ましあい、過ごしています。これからの世界は、このような福音家族こそが救いとなり希望となると私は信じています。

お話されたものを編集担当が要約しました。



親睦会

クリスマス礼拝の余韻を残し、親睦会が生徒ホールで開催されました。「食前感謝の歌」から始まり、世代を越えた学友達と懐かしい学園生活を回顧し語る様子は、まさに神父様のお話にあつた「家族」としての会食でした。

今回クリスマス礼拝に初参加の校友生には、岩手から参加の方や若い118回生もいらつしゃいました。誘われて参加をした方、導きを感じ参加された方、きっかけはそれぞれなれど、普連土学園で過ごした日々を大切に感じられたと、学園生活への感謝の感想が続きました。

後半には、校友会コーラス部の素敵な歌の演奏があり、伊藤先生指揮のもと、クリスマス曲の讃美歌を皆で合唱し、楽しくも懐かしい雰囲気の中で閉会を迎えました。





校友生、在校生が続々と来場

今年度も又、バザー当日はお天気に恵まれ多くのご来場者がおみえになりました。当日のお手伝いだけでなく事前準備に参加下さった校友生の皆さまには、お礼申し上げます。
この大きなバザーという行事は、ひとりひとりの小さな力が集まり、成し遂げられました。
今後も校友生の皆様にお力をお貸し頂けます様よろしくお願いたします。
バザー委員長 秋山道子(86回生)



親子で仲良く手袋選び



品定めにお客さま



開場と同時に大賑わいの売り場



世代を超えて共に奉仕する校友生たち



手芸の会による手作りクリスマスグッズ

2019年度 校友会バザー売上報告書

2019年12月21日
単位：円

摘要	売上	仕入	収益
アクセサリ	142,540	0	142,540
委託	1,243,649	944,639	299,010
献品	255,440	0	255,440
手芸	411,222	29,711	381,511
合計	2,052,851	974,350	1,078,501



人気のフレンドベアとガレット(後援会)



校長室の窓から 風の音を聴く

校長 青木 直人



緑の多い高台にある普通連士学園に

は、四季を通じて風の音がしています。「風は思いのままに吹く」(ヨハネ3:8)。風はヘブライ語で「ルーアッハ」、ギリシャ語では「ブネウマ」。聖書の民は、暑い一日の終わり、夕方に吹く涼しい風を、人を生かす神の「息吹」、神の力そのものである「聖霊」の働きととらえました。

11月1日。中学2年生と足柄まで出かけました。生徒のコミュニケーションスキルを高めたいとの思いで立ち上げた、PAA21という新しい行事です。熟練のファシリテーターから与えられるさまざま
まな課題
を、仲間たちとあてもないこころ
でもないこころ
意見を出し



合いながら、頭と体をフルに使って解決していきます。課題をこなすごとに気づきを「言葉化」していく作業を通じ、一人の作業では決して得られない成果を得る体験を重ねます。ふだんと違う生徒たちのきらきらした笑顔。紅葉にはまだ早かったのですが、尾根づたいの会場を吹き渡る風が、とても爽やかでした。

11月28日の宗教講演会には、日本基督教団東美教会の陣内大蔵(じんのうちたいぞう)牧師が登場されました。教会で生まれ育った異色のシンガーソングライターの作品のそこかしこを、風は吹き渡ります。「そよぐ風につけて／この歌をうたおう／もしも今／神さまがここにいて／聴いてくれているなら」(Where is God)。日々忙しく過(こ)している生徒たちにとっても、先生の歌とお話は一服の清涼剤でした。

夾(か)籟(さい)の此(こ)の尾(お)根(ね)道(みち)の箱(はこ)根(ね)よ(よ)ず
行く秋(あき)の足音(あしな)一木(ひとき)一草(ひとくさ)も

ゆきほ

普通連士学園に吹く風の音を聴きとる感性を失いたくない。そう願う毎日です。

(ゆきほは、青木校長先生の俳号)

懐かしい先生

田中久美子先生(国語課)

1973年～1982年在職



今から37年前、9年9ヶ月在職した普通連士学園を退職しました。この微妙

な数字は夫のタイ赴任に伴うものでした。退職は今思い出しても残念です。タイに4年、日本に5年、その後シンガポール、マレーシアに通算8年滞在し、2000年の春に日本に戻って現在に至っています。

大学を卒業したばかりで、経験のない私を信頼して下さった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。学園生活は忙しく大変でしたが、皆様との交流は楽しく、また沈黙礼拝や「内なる光」に多くを学びました。海外で日本人高校生、日本で中国人を教える機会がありました。非キリスト教主義の学校には少なからず違和感を覚えました。私自身も20年近くキリスト教主義の学校にいた経験から、考え方の土台は若い頃に培われたと思います。

退職してからも心の中に学園があ

ります。不思議な事もありました。シンガポールでは担任した卒業生お二人やシビア先生に偶然お会いしました。「何て小さな世界でしょう。」と言われました。その後も駅の通路やホームで卒業生に声をかけていただき、思いがけない再会に感動しました。離れていたと思っけていても、大きな力に導かれて、つながりが持てるのは幸せです。

現在は韓国人に日本語を教えています。関係が難しくなっているものの、皆熱心に勉強され有難いです。日本語の仕事は20年以上になります。学園にいた時同様、教えることは教わることを実感しています。「言葉は文化」を念頭に異文化交流を続けたと思います。最近メールやラインで新たにつながった卒業生、先生、韓国人やタイ人等とのやりとりも楽しんでいます。世界は確実に小さくなっているようです。



授業風景

校友生は今

映像で伝えたい

「人間讃歌」

95回生 神田 史緒

大学卒業後に制作会社に就職、ディレクターとしてテレビ番組の制作に携わるようになりましたが、海外で働いてみたくなり退職。ニューヨーク、ロンドン、上海と17年間の海外生活を経て、六年前に帰国しました。現在は海外向け英語放送で、日本の情報をいかにわかりやすく発信できるか、日々試行錯誤しています。

これまで、主に歴史ドキュメンタリーや旅番組等を制作してきました。この仕事をしていなかったら訪れなかった国々、出会わなかった人たち、知らなかった歴史があります。

そもそも私が海外や番組制作に興味を持ったのは中学2年の時、ある英国の歌手に一目惚れしたのがきっかけでした。「憧

れの君」にいつか

会えることを夢見て英語の



建築家磯崎新氏にインタビュー

勉強に夢中になり、英会話の時間が俄然楽しくなったものです。そして、彼に少しでも近づきたいと辞書片手に必死に訳した歌詞やインタビュー記事から、彼がゲイであることを知り、英国の若者たちが人種・宗教・ジェンダーの問題に葛藤していることも次第に見えてきました。無知が誤解や差別を促し、憎悪を生み、暴力へと発展する。衝撃でした。

いつしか私は、「背景が異なるうとも、相手を知り、理解して、共生する努力を模索したい。そしてその上で相違点の向こうにある人間としての共通点を慈しみたい。映像を通じてなら、そのメッセージを多くの人たちに伝えられるのではないかと」テレビの仕事を目指すようになりました。今もその思いは変わりません。

そして、「恩人」ともいえる英国の歌手ですが、今も大ファンのまま応援を続けています。「今までどうもありがとう」。初めて会えた時に、私の口から思わす出た言葉です。不思議そう

な彼の顔を今でもよく覚えています。



「恩人」の英歌手ボイジョージ

95回生

冬晴れの12月8日、50歳の節目を迎える年

ということもあり、海外からの一時帰国者を始め、52名の学友が集りました。

「食前感謝の歌」の合唱で始まった同窓会、歌い終わる頃には学園時代にタイムスリップし、その後は少女のように晴れやかにさんざめく笑い声があちこちから聞こえました。

ご出席頂いた浜野能男先生は、年齢を言い訳にすることも増えた私達を「何歳になっても挑戦できる」と激励してください、初めての担当が私達だったという鳥羽博先生、田中潼絵先生は、やんちゃだった95回生のエピソードの数々を披露してくださいました。



卒業してから30余年、皆それぞれの道を進んでいますが、心の礎を共有する仲間であることを強く感じることがなりました。

(神田 史緒)

同窓会をひらきました

100回生

12月7日、100回生の同窓会が開催されました。10年ぶり、通算4

回目の同窓会には総勢42名と先生方7名がご参加くださいました。懐かしい顔ぶれの友との再会を喜び合い、「食前感謝の歌」で乾杯し、ご出席の先生方から私たち100回生の思い出話を披露していただき、最後はハレルヤコーラスと校歌を熱唱。笑顔いっぱい、おしゃべりしっぱなしで、楽しすぎてあつという間の3時間でした。こうして集えたことに改めて感謝申し上げます。

今回参加できなかった方や連絡がつかなかった方も含め、これからもまたみんなで集まりたいと思います。3月7日に100回生も対象となるホームカミングを開催予定です。住所や連絡先などの変更があったらぜひ校友会までご連絡ください。



(南川(吉峯)麻由子)

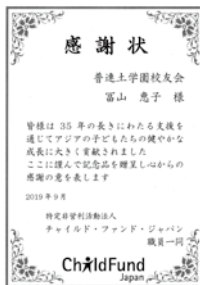
校友会の可愛い里子たち

73回生 富山恵子

校友会には現在3人の里子たちが
フリーピンにいます。今日はこのこ
とをご紹介します。

校友会では1984年から、貧困
のため学校教育を受けることのでき
ないフリーピンの子供たちにチャイ
ルド・ファンド・ジャパンを通して
教育資金を支援しています。

今までに17人の里子たち
が、学校を卒業し、社会へ
巣立って行きました。皆さ
んから毎年納めていただく
運営費の一部と毎月の幹事
会での献金がこの教育資金
となっています。昨年9月
には、35年間の校友会から
の支援に対してチャイル
ド・ファンド・ジャパンか
ら感謝状と記念品をいただ



記念品のマグネット

きました。僅かではありますが私
ちの献金により少しでも多くの子供
たちが未来に向けて夢と希望のある
人生を送れるよう願ってやみません。

〔今の校友会の里子たち〕



ウエENSEスルウィカノボス君 (17歳)

好きなこと…スポーツ
将来の夢…エンジニア
らになって、家やビルを
建てること。



アシュリー プラリスンさん (11歳)

好きなこと…伝統遊
び、歌、ダンス、作文、
読書
将来の夢…学校の先生
になること。



キンバリー デロスレイスさん (7歳)

好きなこと…ダンス、
歌、絵を描くこと
将来の夢…数字に関係
する仕事をしたいの
で、会計士になるのが夢。

※チャイルド・ファンド・ジャパンは
1975年にCWA国際精神里親運
動部として、40年以上にわたってアジ
アのごどもたちへの支援活動を行って
います。

125回生 成人を祝う会

1月13日、125

回生の新成人を
祝う同窓会を開
催しました。お
天気は幸いなこ
とに晴天。色と
ちが暖かな陽気の中、雅やかな目黒
雅叙園に
集い、華
やかな会
となりま
した。



出席者 115名 写真はクラス毎に撮影

当日は
10人の先
生方にも
お越しい
ただき、
久々の再
会を心か
ら楽しみ
ました。
私たち
を育てて
くれた両
親をはじめ
め、先生や職員の方々、先輩や後輩、
校友会の皆様まで、普通土学園での
全ての出会いに心からの感謝を伝え
たいと思います。
(川澄真彩)



指名委員会

校友会指名
委員会は校友
会の要となる
会長、副会長
(2名)、書記
(2名)、会計、
監査(2名)

を選出しお願いするという役目を持
った委員会です。幹事会で任期満
了に伴う役員推薦票を書いて頂
き、委員会で、皆様の意向を参考に
候補者を絞り検討し、候補者との交
渉にあたります。

現在指名委員会は61回生から95
回生までの9名が務めており、各々
の年代が忌憚のない意見を交わして
候補者を選出しています。交渉は難
航することもありますが、OKの返
答を頂き幹事会承認を得られました
時は安堵と共に引き受け頂いた方
への感謝で一杯です。総会で承認を
得て、次年度役員を紹介して指名委
員会の一年の役目
が終わります。

一人でも多くの
校友生が校友会行
事に参加下さり校
友会活動を理解し
て下さればと願っ
ています。



定例会議の様子

勝田 公恵 (71回生)

普連土だより

学校近況

百七十四信

2019年度も学園は校友生の皆様からのご協力をいただき順調に運営しております。

9月の創立記念礼拝では、99回生で弁護士を迎った迎田由紀さんに、「AI時代に生きる皆さまへのメッセージ」という演題で、時代が変わっても変わらず大切にすべきこと、また普連土学園の教育についてお話しいただきました。11月には87回生でアニメーター福井智子さん、91回生で出版編集に携わっておられる矢内裕子さん、93回生ピアノ奏者で作曲家の萩原薫さんから、生徒に貴重なメッセージをいただき、すばらしいピアノ演奏も聴かせていただきました。毎年校友生の皆様による礼拝では、それぞれ多様な分野でのご活躍をお話いただき、生徒にも大きな励みとなっております。同時に、普連土学園の教育が、生徒一人一人が自らの将来も自分で考えて選び取り、何事においても誠実に取り組み、努力を怠らない人を育む教育で有り続けてきたことを改めて認識する大切な機会となっております。

また、理系のコンクールで本校生徒の活躍がめざましく、レゴでの口

ボット・プログラミング競技では、5月のトルコでのファースト・レゴ・リーグ国際大会に本校チーム「フレンズ・ファブ」が参加しました。理科部も昨年度ロケット甲子園で国内優勝し、6月のパリの国際大会で3位に入賞。今年度もまた国内大会で優勝、2020年は英国での国際大会に出場することとなりました。

新しい学年全体の行事としては、高1でこれまでの昔平でのスポーツ合宿に変わり、米国大学の学生による指導で3泊4日デイスカッション、リーディング、プレゼンテーションを全て英語で行うというエンパワメント・プログラムを実施しました。生徒は初めての長期に渡る英語のみの生活でしたが、英語の不得意な生徒も含め全員参加し、積極的に取り組み大きな成果をあげました。今後英語学習へ積極的に取り組む貴重な4日間となりました。

在校生も、礼拝でお話しいただく校友生のように、将来それぞれに活躍をしていく土台をさまざまな場面で着実に築いております。

(浜野 能男先生記)

八十歳になりました

傘寿を迎えられた64回生の皆様に浦口先生が描かれた絵葉書セットをお祝いにお贈りしました。お礼のお手紙をいただきましたので、ご紹介いたします。

この度素晴らしい傘寿のお祝いを有難うございました。浦口先生の描かれた絵葉書はこれからの人生のたのしみとして使わせて頂きたいと思えます。校友会のご配慮、感謝感激でございます。

昔山中湖寮に行ったことを思い出しました。あの辺りには今も野の花が季節を彩っているのでしょうか。
 山中湖寮に中1、高1のキャンプの付き添いとして何度も行ったこと、富士五合目にも行き、色々植物の名前を覚えて頂いたことを懐かしく嬉しく思い出しました。

野に咲く花の素朴さ、力強さが浦口先生のお人柄を表現されているようで、遠い昔の生物の時間も思い出されました。

先生のピリッとしてしかも解りやすい授業。そのような先生の目を盗みヒソヒソ話をしたあの頃を思い出懐かしんでおります。

私どもの頃はまだ校舎の一部は木造で、冬はストーブ当番、毎日の給食は学年からお当番が出てなんとも健康で明るい時代でした。幸せなひとときを懐かしく思い出しております。

懐かしくて様々なことを思い出して涙ぐんでしまいました。小池先生のお料理、池田先生とお月様を見たこと、富士ゴルフ場でアイスクリームを食べたこと。

自然災害が多発していますが、お蔭様で元気に一人暮らしを楽しんでいます。

◆お便りをくださった方々(敬称略)
 石田房子 門脇千鶴子 木村滋子
 更級晨子 島村裕子 竹内久美子
 武本民子 富田美禰子 中森正子
 平野悦子 宮田ミミ子



いただいたお便り

このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

校友会だより

◆校友会総会

2020年度の校友会総会を左記の要領で開催します。

日時 6月6日(土) 11時～
会場 新渡戸稲造ホール

第一部は礼拝と校長先生より学事報告。事務会の主な議題は、2019年度年次報告・決算、2020年度年次計画案・予算案です。事務会後の催し物は普連土学園音楽部の演奏です。普連土生のさわやかな演奏を楽しみましょう。



第二部はローズホールで昼食、歓談とコーラス、校歌で閉会します。4月下旬までに往復はがきでのご案内いたします。多くの方々の出席をお待ちしています。

◆ホームカミング

対象回生 100・105・110回生
日時 3月7日(土) 13時～16時

会場 新渡戸稲造ホール

普連土学園を懐かしみ学園との絆を深める場となるよう、懐かしい先生方も多数ご招待し、楽しい企画をご用意しています。対象回生の皆様にハガキにてご案内しました。まだ返事をされていない方は、お早めに各学年の幹事にご連絡ください。

◆2019年度分校友会運営費

本年度のお支払いがまだの方は郵便局で左記の口座にお振込ください。

口座記号 00110・8
口座番号 87932 (右詰め)

加入者名

普連土学園
校友会

金額

2500円

通信欄に必ず

回生・お名前・ご住所を

お書き添えください。

お書き添えください。

◆災害のお見舞い

今年も日本各地で、台風、豪雨による水害、土砂崩れなど不幸な災害が多発しました。被災された方々への心からのお見舞いと、復興をお祈り申し上げます。

◆野村英子さんを偲ぶ

関西支部最長老の野村英子さん(41回生)が7月20日に102歳で天に召されました。常に普連土学園への熱い思いを持ち、この方なしでは、今の関西支部が存在しないほどご尽力くださいました。心からの感謝と共に冥福をお祈りいたします。

◆ドミンゴ先生叙勲

1963年4月より1965年7月まで普連土学園で英会話を担当されていたデア・ドミンゴアルバート元フィリピン外務大臣は5月23日に宮中にて旭日重光章を授与されました。令和時代における初の叙勲者の一人となりました。校友会にとりまして嬉しいニュースです。

◆訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心よりの哀悼の意を表します。

41	野村 英子(永井)	19・7・20
46	市村 俊子(堀田)	19・2・27
47	藤 敏子(桜井)	19・6・17
48	田辺 松子(佐藤)	19・5・26
51	内田 住江(高橋)	19・6・10
51	清水 寛子(五島)	19・10・3
52	B坂牧幾久子(水間)	18・5・11
59	平井千代子(渋谷)	19・6・11
64	大町 玲子(小見)	19・5・2
66	宮沢 明子	19・4・23
73	高橋 真理(栖原)	19・10・20
79	富田 嘉子	19・3・29
85	加藤 裕美	17・2

校友会より、お花とお悔やみカードをお送りしました。



編集後記

出版委員会に3名の新メンバーを迎えました。これからも新たな試みを積極的に取り入れ、より皆様に読んでいただける会報を作りたいと思います。

(入江・森本・富山・渡邊・神田・白井・山田)

スマートフォンやタブレット端末からQRコードを読み取ると校友会ホームページに繋がります。

